

2020(令和2)年2月

習志野市男女共同参画社会づくり情報紙

第47号

きら *Kira Kira* きら

特集 野球大好き！ふたりの女子小学生 ～家族と仲間とワンチーム～



今年は東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されます。多くの競技種目の中、野球も 2008 年の北京オリンピック以降再び行われることになりました。習志野市でも 13 の少年野球チームがあり、その中で女子選手も活躍しています。

今号では、大久保小学校を拠点に活動する小学生チーム「大久保フロッグス」で活躍する二人の女子選手に取材をし、家族に支えられながら猛練習に励む様子をお聞きしました。



大久保フロッグス（※）のAチームには、小学校5年生の2人の女子選手がいて、元気にプレーしています。1人は玉置 空（たまき そら）さん【後列右から1人目】、もう1人は伊藤 花（いとう はな）さん【前列右から1人目】。大好きな野球にける二人の思いをお母さんとともに話してもらいました。

●最初に、二人に野球を続けていてうれしかったことを聞いてみました。

ポジションがセカンドの伊藤さん。「ピッチングマシンのボールが打てなかった時、チームメイトが応援してくれ打てるようになったこと」

ポジションがピッチャーで4番を打つこともある玉置さん。「試合でホームランを打った時とチームメイトが協力してボール回しが上手くできた時はみんなで喜びます」

二人とも即座に仲間の応援を挙げてくれました。チームが目指す「団結と友愛」のもと、“ワンチーム”で切磋琢磨するメンバーの素直な気持ちです。

●野球を始めたきっかけは？

伊藤さん
「3年生の時、兄が野球をやっているのを見て楽しそうだったから。実際にやってみたら楽しかった」

玉置さん
「わたしは幼稚園の時、やはり兄がやっているのを見て、双子の弟（玉置 海さん）と一緒に始めました。チームでは弟がキャッチャーでバッテリーを組んでいます」



玉置 空さん

伊藤 花さん

練習は学校の授業がない土曜日・日曜日を利用して行います。男子も女子もまったく同じ練習メニューです。体力づくりのためランニングにも重点を置いており、グラウンド10周の時には苦しくなっていやになることもあるそうです。でもそれは一時的なもので、野球が始まればまた楽しくなると言います。

根っから野球大好きな二人です。練習の日には一家総出で、“野球一色”の多忙な1日となります。

玉置さんの母 真希さん
「泥だらけになって帰宅すると、休む暇もなく私は食事の用意、夫は汚れ物の洗濯、子どもたちはお風呂と大忙しです。夫の協力がなければとてもやっていけません」

伊藤さんの母 優子さん
「夫は仕事が忙しく、普段の日は子どもと顔を合わせる事が少ないので、休みの日は思いっきり子どもサービスです。早起きして娘は夫、兄は私が車で練習グラウンド送りです」

子どもたちの野球を中心に、家族の絆を深めている姿が微笑ましい。試合や練習を終えた日、家族そろっての夕食では野球を巡る話題に花が咲きます。

●子どもたちが野球を続けていてよかったことは？

伊藤さんの母 優子さん
「娘が野球をやりたいと言った時は正直言って驚きましたが、始めてからはケガをしなくなり、学校も休まなくなったのはありがたいと思います」

玉置さんの母 真希さん
「監督やコーチの指導であいさつなどしっかりしてきたのはありがたいですね。夏の酷暑の中、ふらふらしながらも頑張っているのを見ると胸を打たれます。あとは早起き、たくさんご飯を食べるようになったことですかね」(笑)

野球を通じて人のつながりも深まったのでは？との質問に、二人のお母さんはママ友も増えたと“野球効果”を強調します。高校野球の県大会を家族同士で誘い合って一緒に見に行くなど地域での人の輪も広がりをみせているようです。今年は八千代市との合同女子野球チームにも参加を予定しており、さらに人のつながりが広がりそうで楽しみにしています。

●中学生になっても野球を続けますか？

玉置さん
「中学校の部活は野球をする女子選手が少ないので、ソフトボール部とも思っています。他にもバスケットや水泳も好きなので迷っています」



伊藤さん
「テニスもやりたいし、吹奏楽もやりたいし、いろいろあってまだ決まらないうです」

悩みながらも二人の夢は大きく広がります。「大久保フロッグス」には二人のほかに女子選手がいません。二人は今年の4月で6年生になります。後を継いでくれる後輩がいてほしいと思いますが、残念ながらいまのところ後輩がいないので、これからの期待したいところです。

習志野市男女共同参画推進団体インタビュー

男女共同参画社会の実現に向けて、市と共に協力して活動を行う市民団体である「習志野市男女共同参画推進団体」を紹介します。

童謡フェスティバル in ならしの



設立：1981年
会員数：100人
会長：中村 克子さん

会長 なかむら かつこ 中村 克子さん(中)
副会長 いまい しゆんこ 今井 純子さん(右)
副会長 へいじ よしこ 幣司 義子さん(左)

「白鷺園童謡コンサート」の時のこと。「人を避け、いつも一人ぼっちだった入居者の男性がみんなと一緒に歌ってくれたんですよ」と……介護職員の喜ぶ姿に、中村さんは「童謡を続けていて本当によかった」と思った。

袖ヶ浦公民館の館長だった中村さんは習志野文化ホールが出来たのをきっかけに、昭和56年、お母さんたちが子どもを連れて参加できる童謡サークルを立ち上げた。(*)大久保、新習志野公民館でも立ち上げ、その後東習志野コミュニティセンター、谷津公民館にも呼びかけこの会を誕生させた。今井さんや幣司さんらと力を合わせ、現在、団体に所属する女性たちが公民館を中心に活動が続いている。「故郷」「春の小川」「赤とんぼ」……時には童謡の故郷を訪ね作者を思いやりながらみんなで歌い、心をつににする。新潟県中越地震の時には童謡をテープに吹き込んで山古志村に100本を送り、東日本大震災では孤児たちのために募金し「あしなが育英会」に届けた。最近若いお母さんたちの参加が少なくなったのが悩みだという。“童謡が流れるまち”になってほしいと中村さんは詩をつくった。題して「いっしょに歌おう童謡を」詩の一節にはこうある。「語り継ごう 作詞・作曲家のこころを 伝えよう 親から子どもへ 窓から窓へ」

【問い合わせ】TEL/FAX：047(463)6354 中村

*現在の中央公民館

●これから野球を始めたいと思う女の子へメッセージはありますか？

伊藤さん
「試しに1回やってみて！」



玉置さん
「男の子と差はない。野球は男女に共通」

笑顔であっさりと言い切る。少女たちの自信に満ちた姿はさすががしい。

※「大久保フロッグス」は、習志野市少年野球連盟に所属する設立23年のチーム。選手の年齢別にA～Cの3チームで構成し、現在44人の小学生選手が参加している。出身選手には、昨年甲子園を沸かせた飯塚投手がいる。

編集委員の おすすめ図書

ステップならしの図書コーナーでは、男女共同参画に関する図書の貸し出しや資料が閲覧できます。ひとり5冊、2週間まで借りることができます。どうぞご利用ください。

ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた

—あなたがあなたらしくいられるための29問

さとう るみか 佐藤 文香 監修
一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同 著
明石書店 発行 2019年



ゼミで学んだジェンダー研究の成果をもっと広く知ってもらいたいと強く思い、多くの葛藤や願いから生まれたのがこの本です。「〇〇男子/〇〇女子って言い方したらだめ？」や「女性専用車両って男性への差別じゃない？」など、これまでに問われた質問に、大学生の視点でよりよい答えを真剣に考え、後輩に引き継いでいってもらえたらと29の質問に対して読み応えのある回答集になっています。

タンタンタンゴはパパふたり

ジャスティン・リチャードソン&ピーター・パーネル 文

ヘンリー・コール 絵
おつし 尾辻 かな子、まえだ かずお、前田 和男 訳
ポット出版 発行 2008年



本書は絵本です。セントラル・パーク動物園でオスのロイとシロというアゴヒゲペンギンがカップルになり、他のペンギンカップルが育てられなかったたまごの世話をし、他の動物たちと同じように家族を持つことができたという本当の出来事が描かれています。

◆男女共同参画コラム◆ 今号は、オリンピックにちなんで「オリンピック憲章と性の多様性」のお話です。

●東京にオリンピックがやってきます

皆さんは、2016年のリオオリンピックで50人以上の選手が自らをLGBT(L:レズビアン・女性同性愛者、G:ゲイ・男性同性愛者、B:バイセクシャル・両性愛者、T:トランスジェンダー・心と体の性が一致しない人)であることをカミングアウト(表明)したことはご存じですか？

その理由の一つが「オリンピック憲章」の改訂です。

2014年のソチ冬季オリンピックのことです。開催国であるロシアがオリンピックの前年に同性愛宣言禁止法を制定しました。そのことを問題視した欧米の一部の国の首相らが開会式をボイコットしたのです。そこで、国際オリンピック委員会は、2014年12月にオリンピック憲章の「オリンピズムの根本原則」に「性的指向(*1)による差別禁止を加え、人権尊重の意思を強く示しました。

(*1 性的指向：好きになる性がどの性に向いているのか)

このことにより、リオオリンピックではLGBTであることを公表した人の人数が夏季大会過去最大となりました。

そして今年、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。東京2020オリンピック・パラリンピックのコンセプトの一つは「多様性と調和」です。人種、肌の色、性別、性的指向、言語、障がいの有無など、あらゆる違いを互いに認め合うことが掲げられています。

「その人らしく」生きられる多様性のある社会は、誰もが生きやすい社会につながります。

●LGBTの割合は約13人に1人

日本におけるLGBTの割合は、人口の7.6%、約13人に1人とされています。(電通ダイバーシティ・ラボ「電通LGBT調査2015」)

また、自分の体や戸籍の性に違和を感じる「性別違和」を自覚した年齢は、女子は約半数が小学校6年生から高校1年生までの期間に、男子は25%が小学校入学前と回答しています。(いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン(2013)「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)結果報告書」)

子どもの頃から、他の人との違いを感じたり、いじめやからかいの対象にされることを恐れて、誰にも話せない人がいることをぜひ理解してください。

●習志野市は性の多様性に関する理解促進に取り組んでいます

習志野市では、職員・教職員がLGBT等の性の多様性について正しく理解し、適切に対応するために「性的指向及び性自認(*2)・性別違和に関する対応指針」を作成し、理解の促進に取り組んでいます。

(*2 性自認：自分が認識する自分の性のこと)

その取り組みの一つとして、市で所管・使用している全ての書類について性別欄の必要性を点検し、法的に義務付けられたものや事務の性質上必要であるものを除いて順次、性別欄を廃止するようにしています。

対応指針には、「必ず知っておきたいこと」や「子どもへの配慮に係る対応」なども掲載しています。

多様な性的指向及び性自認・性的違和の人々の困っていることや対応してほしいことは一人ひとり異なります。あなたの身近にいる大切な人達のためにこの対応指針を活用してください。市のホームページから閲覧できます。



イラスト：池永 良恵

女性の生き方相談

- ◎DV(ドメスティック・バイオレンス)のこと ◎夫婦のこと ◎家族のこと
- ◎人間関係のこと ◎自分自身の生き方のこと など

*無料 *要予約 *秘密厳守 *市内在住・在勤・在学者対象

<面接相談>女性の専門相談員があなたと一緒に考えます。

日時：第1金曜 午後1時30分～3時10分・4時～7時40分 1回40分

第2・4火曜、第3木曜、第3金曜 午前9時～11時40分・午後0時30分～4時10分

場所：サンロード津田沼6階 市民相談室

申込：習志野市男女共同参画センター(ステップならしの) 047-453-9307

【予約受付】平日：午前8時30分～午後5時 土曜：午前9時～午後5時

アンケート実施中!

今後のより良い紙面づくりのため、皆さんの率直なご意見、ご感想をお聞かせください。

【回答方法】
右記のQRコードから専用メールフォームにアクセスし、各質問項目を回答して「送信」を押してください。

